

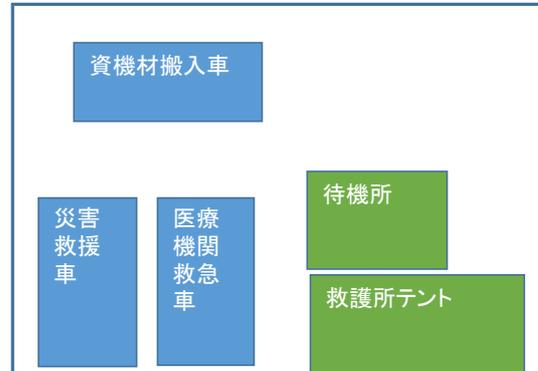
防災活動記録

出席者: 寿町腎・内科クリニック4名、防災士9名。

文責: 板野孝幸(副代表)



1. 会場設営
 救護所の設営場所は諏訪通りのセブンイレブン向かい真如園駐車場を使用。



後に救護場所の処置・対応中のプライバシー保護を目的に外側をブルーシートで囲い目隠し取付。

2. 活動内容

◆8月26日(初日)は、町内神輿の神社へ宮入
 11:00～15:00 救護所内で待機。
 救護依頼は特になし。

◆8月27日(2日目)は、神輿団体の大神輿の
 神社宮出し～駅前まで神輿練り歩きに救護随行。
 随行2班体制: 神輿前後で傷病者発生警戒。
 ①救護所: 寿町腎・内科クリニック4名が待機。
 ②随行班: 救護統括1名、A班4名、B班3名。

<救護所>

①変調: 前日からの飲酒+睡眠不足から疲労による
 軽度な脱水。
 午前・午後に点滴同一40代男性1名。(軽度)
 ※点滴は血液と同じ成分のリンゲル液。

②擦過傷: 左足の指又部分(雪駄擦れ)で20代女性1名。
 右足甲部分(サンダルのバックル擦れ)で30代
 女性1名。
 左肩部分(神輿台棒の担ぎ擦れ)で50代男性1名。
 ※絆創膏貼付。(いずれも軽度)

③捻挫: 左人差し指の第2関節で40代男性1名。
 ※固定テーピング。(軽度)

<随行班>

④急性アルコール中毒: 40代女性1名
 救護所向かいのコンビニ入口付近で倒れ通報対応。
 ストレッチャーで救護所に搬送。
 医療機関の救急車内で13時～16時半まで介護するも
 酩酊状態、嘔吐もあり体調回復せず。
 立川中央病院へ救急搬送。
 ※症状(中～重度)

⑤神輿休憩時の状況: 湿度・気温とも高く、後半の駅前付近で
 疲れを訴える担ぎ手が多く見受けられた。
 「休みながら楽しむよう」声掛けして救護が必要か確認
 巡行ルートを随行するも要救護者はその後発生せず。
 ※幸いにも暑さからの熱中症発生事案なし。



同催事に救護所運営として4年目となり、一般参加者、運営側から防災士の認知度も上がってきている。
 実救護活動で緊張感もある中、一般の方から「ご苦労様です。」「ありがとうございます。」とお声掛けされ
 取り組むメンバーも嬉しく、やりがいも感じられた。

以上